

## ● お知らせ



報道関係各位

ケンコーマヨネーズ株式会社

2014年3月26日

### 高度なゼロエミッションを目指して 国内初の取り組みである「ポテトピール事業※」が評価 「第1回食品産業もったいない大賞」にて 『食料産業局長賞』を受賞

発信番号：13-18

当社（東京本社：東京都杉並区 代表取締役社長：炭井孝志）は、農林水産省補助事業の平成25年度食品産業環境対策推進事業における「第1回食品産業もったいない大賞」において『食料産業局長賞』を受賞しました。国内初の試みである当社西日本工場（京都府舞鶴市）のポテトピールにおける液状飼料化の取り組みが評価されました。

当社はこれまでも、製品を製造する過程に発生するポテトピールや卵殻などは飼料や肥料として再利用して、食品廃棄物の削減を推進し、その他廃棄物についても積極的にリサイクルを実施しています。2007年度は廃棄物リサイクル率90%以上を達成し、2008年度には自社工場（全6工場）にてゼロエミッションを達成しました。現在も全工場の達成状況や取り組みの報告会を実施し、ゼロエミッションを継続して達成できるよう活動をおこなっています。

当大賞は農林水産省補助事業の一環でバイオマス資源総合利用推進協議会（東京都中央区 会長：兒玉 徹）が実施し、食品産業の持続可能な発展に向け、地球温暖化・省エネルギー対策である「食品ロスの削減」、「消費者と連携した取り組み」等で顕著な実績を挙げている企業、団体及び個人を表彰するものです。

今回の表彰では、ポテトピールを自社敷地内に設置した設備で液状飼料化し、廃棄と比べて大きな経済効果を得ていること、また食品工場で多量に発生するポテトピールを、再生利用の中でも優先順位の高い飼料化により活用している点が評価され、『食料産業局長賞』を受賞しました。

#### 回 食品産業もったいない大賞 表彰式



【3/26 表彰式の様子】



【西日本工場敷地内のポテトピール施設】

当社は、今後も食品メーカーとして「食を通じて世の中に貢献する。」という企業理念のもと、「安全・安心・安定・美味しい」食品づくりを通じて、世の中に貢献できるよう全従業員が環境保全への取り組みを推進し、実行していきます。

※「ポテトピール事業」とは、ポテトサラダの製造工程で発生するじゃがいもの皮などのポテトピールを、これまで産業廃棄物として処理されていたものを液状化飼料として再生する取り組みのこと。2009年12月に当社西日本工場に国内で初めて導入。

#### ■会社概要

社名：ケンコーマヨネーズ株式会社  
代表者：代表取締役社長 炭井 孝志  
所在地：東京都杉並区高井戸東 3-8-13（東京本社）  
創立年月：1958年3月  
資本金：2,180百万円（2013年3月末現在）  
主な事業内容：サラダ・総菜類、  
マヨネーズ・ドレッシング類、  
タマゴ加工品等の食品製造販売  
URL：http://www.kenkomayo.co.jp/

#### ■本件に関するお問い合わせ

ケンコーマヨネーズ(株)  
経営企画統括室 広報室  
【担当：飯沼和也・渡辺亮彦】  
TEL：03-5962-7787 FAX：03-3247-8818  
E-MAIL：[kouho@kenkomayo.co.jp](mailto:kouho@kenkomayo.co.jp)